

プレスリリース

2016年2月1日



- ◆2015年度のCRO(Contract Research Organization:医薬品開発業務受託機関)市場は前年比7.9%増の1,630億円の見込
- ◆2015年度のCSO(Contract Sales Organization:営業・マーケティング業務の受託機関)は前年比8.1%増の689.5億円の見込

医薬品開発アウトソーシング・マーケットの実態を捉えたマーケティング資料 「治験(CRO)&営業支援(CSO)アウトソーシング市場の現状と展望2015年度版」発刊

IT分野専門の市場調査機関である株式会社ミック経済研究所(本社:東京港区、社長:有賀章)は、医薬品開発アウトソーシング・マーケットの市場実態を捉えたマーケティング資料「治験(CRO)&営業支援(CSO)アウトソーシング市場の現状と展望 2015年度版」を発刊した、と発表しました。

これは、前回2013年度版のアップデート版で、5版目となります。

本調査は、前回同様、CRO60社及びCSO13社を調査対象として、面接取材を中心に、アンケート、電話調査を併用しながら最新情報を収集、主要CRO16社及びCSO9社の個別実態を積み上げ、CRO及びCSO市場全体を推定した資料となっています。

調査結果の概要は、以下のとおりです。

<調査結果の概要>

1.CRO及びCSOの市場概況と予測

CRO及びCSO両市場ともに、企業規模によっては成長率に多少のばらつきはあるものの、安定成長期のステージに入っており今後も市場は拡大の見通しである。

また、新領域への事業の拡大や新しい市場の創出に向けて各社が手を打ち始めていることが、医薬品開発・営業アウトソーシングサービスに対する前向きな投資を生み、2020年の市場規模は、対2014年度比で、CRO市場で約1.6倍の2,510億円、CSO市場で約1.7倍の1,080億円に達すると予測する。

2. CRO の市場動向

◆2015年のCRO(Contract Research Organization:医薬品開発業務受託機関)市場は前年比7.9%増の1,630億円の見込

2014年のCROの市場規模は前年度比106.7%の1,510億円であった。(表-1、図-1を参照)

新薬の開発競争が激化する中で臨床開発のアウトソーシングをせざるを得ない状況が続く製薬企業は、低コスト・高品質のCROとの契約を望むため、CROに対して質の高いCRA(Clinical Research Associate)を求めている。また、製造販売後調査の受託増、さらに単発業務だけでなくフルアウトソーシングの増加など、こうした製薬企業のニーズ変化に対して、新たな需要を獲得したCROの業績が伸長することが予想される。

また、モニタリング業務など労働集約型から知識集約型へビジネスモデルの転換を図って、付加価値の高いソリューションを提供するという動きが今後加速することが予想され、2015年の同市場規模は前年比7.9%増の1,630億円になると見込む。

今後は、従来型のCRO事業に加え、PMS(市販後調査)やPMSの中に含まれるPV(ファーマコビジランス)、及び臨床研究領域への事業の拡大による新しい市場の創出、アジアを中心に本格的な海外展開による市場拡大、さらには新しい競合企業の出現などにより市場は活性化していくと予測する。そのため、2020年度の市場規模は2,510億円に達すると予測する。

3. CSO の市場動向

◆2015年のCSO(Contract Sales Organization:営業・マーケティング業務の受託機関)市場は前年比8.1%増の689.5億円の見込

2014年のCSOの市場規模は前年度比110.0%の638億円であった。(表-2、図-2を参照)

MR業務市場(派遣/委受託)は派遣法改正の追い風もあり、当面、委受託よりも派遣へのシフトが進んでいくと予想される。それはCSOのアウトソーシングサービス比率の底上げを図るという面からもメリットは大きく、2015年の同市場規模は前年比8.1%増の689.5億円になると見込む。

また、クライアントがMRに求めるものが変わってきたという市場環境の大きな変化に、CSO各社は今後の戦略を模索し始めている。その中で次の一手を打ち始めているCSOがあり、一つは、MRとコールセンターを融合して、多様化するプロモーションチャンネルに対応するサービスであり、二つはリアル訪問だけではニーズに応え切れないためITを活用したサービスを展開したり、急激にニーズが高まりつつあるメディカル・アフェアーズ事業の展開などである。これらによって従来のMR業務及び教育事業以外の第三の柱が生まれることが予想される。そのため、今後の市場規模の拡大が進み、2020年の同市場規模は1,080億円に達すると予測する。

なお、同資料の体裁は A4判238頁のバインダー製本で、価格は205, 200円(消費税含む)です。(バインダー製本版+PDF版248, 400円とCD-ROM版410, 400円もご用意しております)

報道関係からのお問い合わせは以下の担当にてお願いいたします。

株式会社ミック経済研究所

担当：小林 勇一

東京都港区芝 4-7-8 芝サンエスワカマツビル 10F

TEL：03-5443-2991

E-mail：ykobayashi@mic-r.co.jp

HomePage：www.mic-r.co.jp

当該資料の概要ページ：<http://www.mic-r.co.jp/mr/00960/index.html>

<表-1>CRO市場規模推移

(単位:百万円)

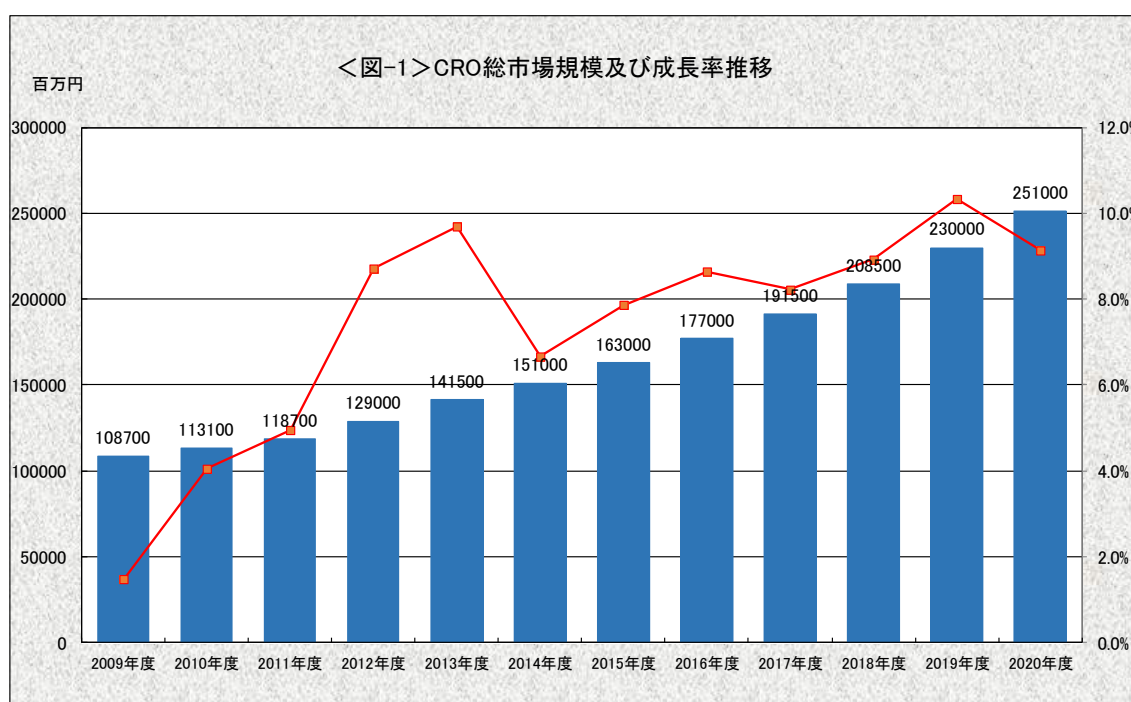
	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
CRO 総市場規模	108,700	113,100	118,700	129,000	141,500	151,000	163,000	177,000	191,500	208,500	230,000	251,000

※ 総市場規模は、医薬品、医療機器、食品の各領域を含む。

※ 2009年度から2012年度までの総市場は、過去に発刊した弊社資料のデータに基づく。

■前年比

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
CRO 総市場規模	-	104.0%	105.0%	108.7%	109.7%	106.7%	107.9%	108.6%	108.2%	108.9%	110.3%	109.1%



<表-2>CSO市場規模推移

(単位:百万円)

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
CSO 総市場規模	36,540	40,300	47,550	53,100	58,000	63,800	68,950	75,000	82,300	90,000	99,000	108,000

※ 2009年度から2012年度までの総市場は、過去に発刊した弊社資料のデータに基づく。

■前年比

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
CSO 総市場規模	-	110.3%	118.0%	111.7%	109.2%	110.0%	108.1%	108.8%	109.7%	109.4%	110.0%	109.1%

